

2023年10月26日
株式会社ロイヤリティ マーケティング

Pontaリサーチ会員3,000人に聞いた
第59回 Ponta消費意識調査 2023年10月発表

冬のボーナスの使い道に変化。「貯金・預金」が10年連続1位になるも、割合は過去最低。特に若年層の減少が目立つ ～「支給されない・分からない」は過去最も高い47.0%～

共通ポイントサービス「Ponta（ポインタ）」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」）は、消費者の意識とポイントの利用意向を把握するため、「第59回 Ponta消費意識調査」を「Pontaリサーチ」にて2023年9月28日（木）～9月30日（土）に実施いたしましたので、ご報告いたします。

注目トピック

冬のボーナスの使い道

<消費者意識>

- **冬のボーナスの使い道**（P.2）
 - 冬のボーナスの使い道、「貯金・預金」が10年連続1位。しかし、割合は過去最も低い34.5%。「支給されない・分からない」は、過去最も高い47.0%
- **冬のボーナスの使い道の変化（前年比較）**（P.3）
 - 前年と比べて「貯金・預金」は、20代の減少幅が大きく5.8ポイント減少。「支給されない・分からない」は、20代で2.8ポイント、30代で4.0ポイント増加
- **冬のボーナスの支給金額と貯金・預金の割合**（P.4）
 - 冬のボーナスの支給金額は、前年と比べて「20万円未満」が増加し、21.0%。冬のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は54.3%
- **冬のボーナスの「貯金・預金の用途」「用途詳細」**（P.5）
 - 「貯金・預金」の用途を「決めている」は約4割。1位「老後の生活への備え」、2位「将来の消費への備え」

<節約志向>

- **消費者の節約志向**（P.6）
 - 「節約したい」派は67.0%となり、前回調査より1.6ポイント減少

<ポイントサービスの利用意向>

- **ポイントの活用意識と節約志向**（P.7）
 - 「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が44.3%と最も高く「節約したい」派では、「いまつかいたい」が45.6%と最も高い。「節約したい」派に高いポイント活用意識がうかがえる

<調査概要>

調査方法：インターネット調査

調査期間：2023年9月28日（木）～9月30日（土）

パネル：「Pontaリサーチ」会員（Ponta会員で「Pontaリサーチ」への会員登録をいただいている方）

回答者数：3,000人 男性、女性×年代別（20・30・40・50・60代以上）の各10セルで300サンプル

※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。

<引用・転載の際のクレジット表記のお願い>

調査結果引用・転載の際は、「Pontaリサーチ」調べとクレジットを記載していただきますようお願い申し上げます。

＼ LMは、「Ponta」の「便利・おトク・楽しい」世界が、いつでもどこでも広がる生活密着型サービスを提供しています ／

消費者意識

冬のボーナスの使い道

冬のボーナスの使い道、「貯金・預金」が10年連続1位。しかし、割合は過去最も低い34.5%。
「支給されない・分からない」は、過去最も高い47.0%

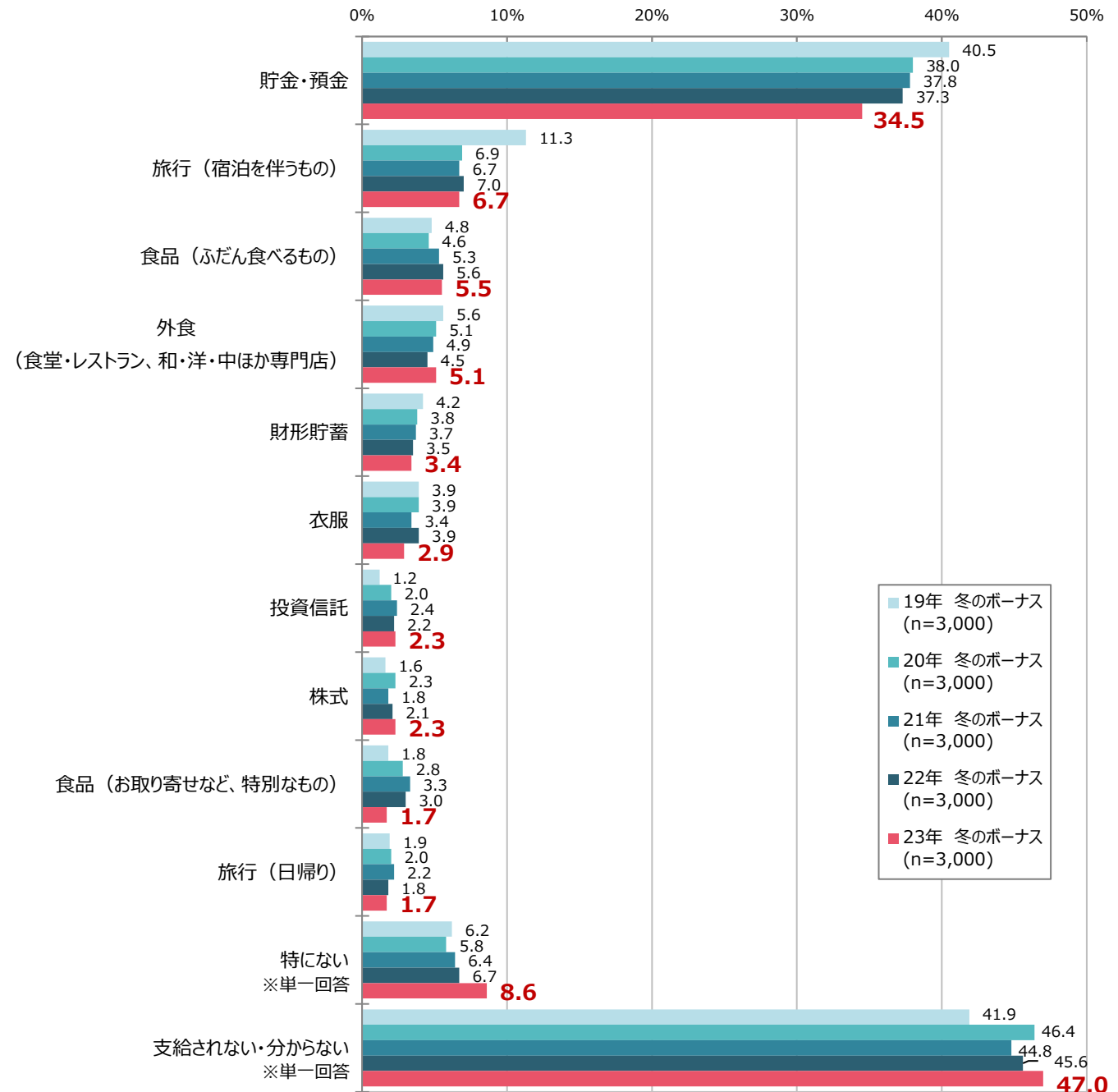
- ・今年の冬のボーナスの使い道について、10年連続で「貯金・預金」が1位となった。しかし、割合を見ると過去最高だった2019年調査（40.5%）以降、減少傾向となっており、本調査では34.5%と過去最も低かった。2位は「旅行（宿泊を伴うもの）」、3位は「食品（ふだん食べるもの）」だった。
- ・「支給されない・分からない」は47.0%で、過去10年間で最も高かった。

■今年の冬のボーナスの使い道を教えてください。（3つまでの複数回答）

※今回調査で上位10項目を抜粋（「特にない」「支給されない・分からない」を除く）

※回答が同数で順位に差がある場合は、小数点第2位以下に差があるため

※2014～2018年の冬のボーナスに関する調査結果は、こちらからご確認ください（<https://www.loyalty.co.jp/news/2019103001>）



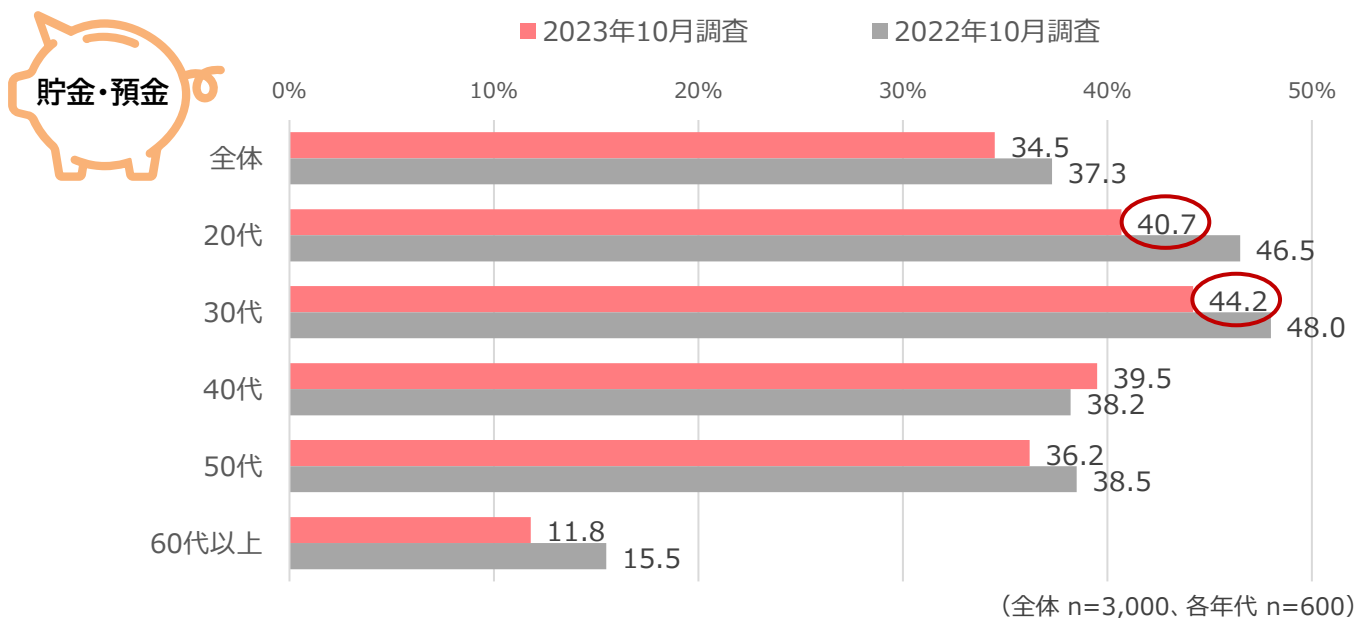
消費者意識

冬のボーナスの使い道の変化（前年比較）

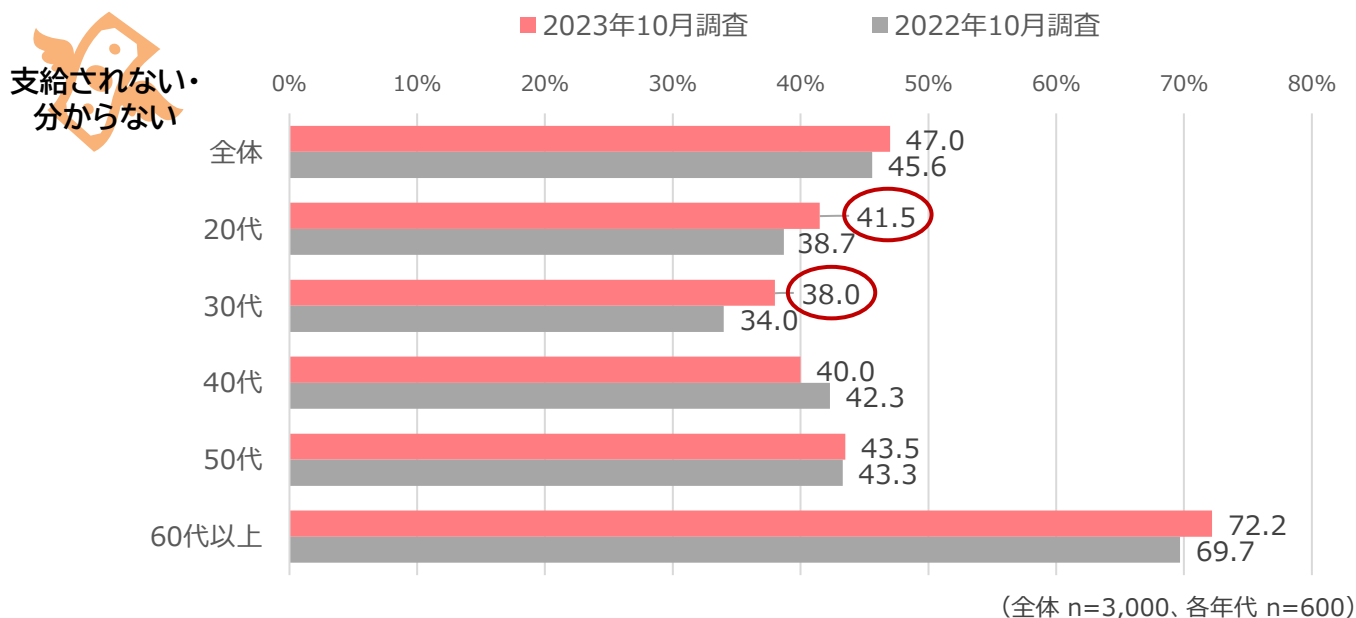
前年と比べて「貯金・預金」は、20代の減少幅が大きく5.8ポイント減少。
 「支給されない・分からない」は、20代で2.8ポイント、30代で4.0ポイント増加

- ・今年の冬のボーナスの使い道について、「貯金・預金」を2022年調査と比べると、全体で2.8ポイント減った。年代別で見ると、減少幅が大きい順に、20代が5.8ポイント、30代が3.8ポイント減少した。
- ・「支給されない・分からない」を2022年調査と比べると、全体で1.4ポイント増えた。年代別で見ると、増加幅の大きい順に、30代が4.0ポイント、20代が2.8ポイント増加した。20～30代において、ボーナスの貯金・預金意向や支給状況に変化が伺えた。

【冬のボーナスの使い道で「貯金・預金」を選んだ方を2022年10月調査と比較】



【冬のボーナスの使い道で「支給されない・分からない」を選んだ方を2022年10月調査と比較】



消費者意識

冬のボーナスの支給金額と貯金・預金の割合

冬のボーナスの支給金額は、前年と比べて「20万円未満」が増加し、21.0%

- 冬のボーナスの支給金額は、「20万円未満」「20万円～40万円未満」「40万円～60万円未満」がそれぞれ約2割ずつとなった。2022年調査と比べると「20万円～40万円未満」「40万円～60万円未満」の割合が減り、「20万円未満」が増えている。

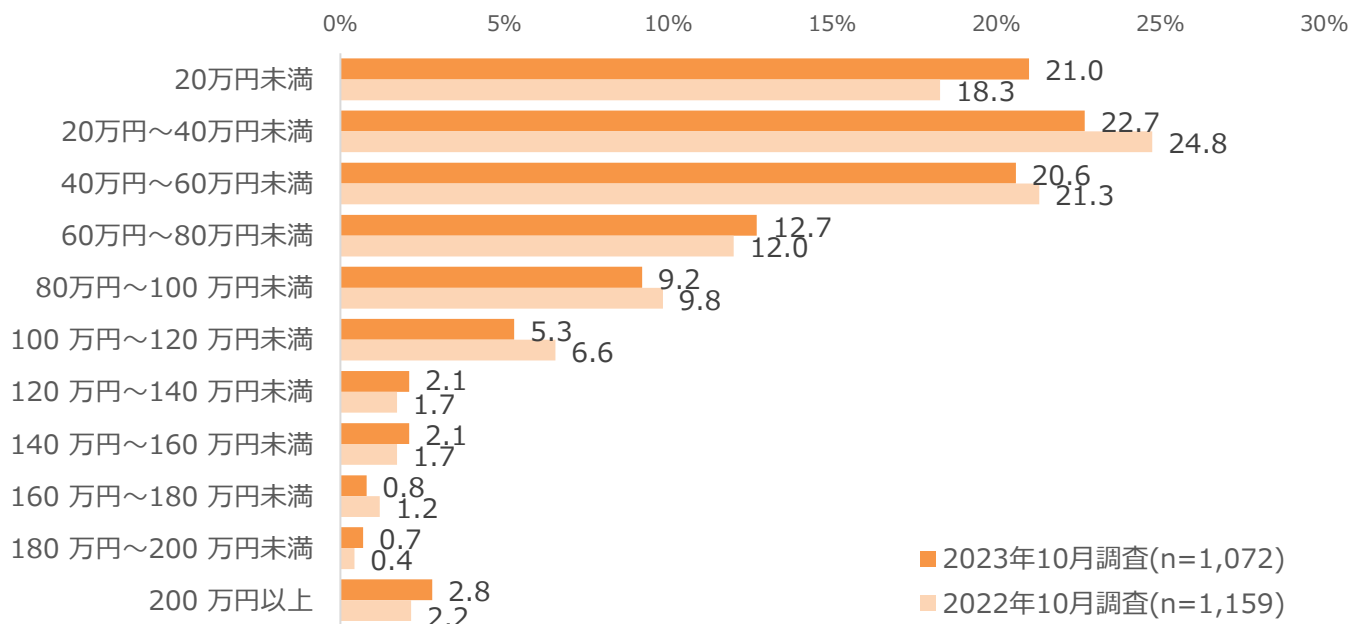
冬のボーナスの支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は54.3%

- 「貯金・預金」したい人に、冬のボーナスの支給金額のうち貯金・預金したい額の割合を聞くと、「50%～75%未満」は23.1%、「75%以上」は31.2%となった。合わせると、支給金額の半分以上を「貯金・預金」したい人は、54.3%となった。

■あなたもしくは家族にボーナスが支給される場合、今年の冬のボーナスの金額(世帯あたり)を教えてください。これから支給される場合は、想定される金額を教えてください。(単一回答)

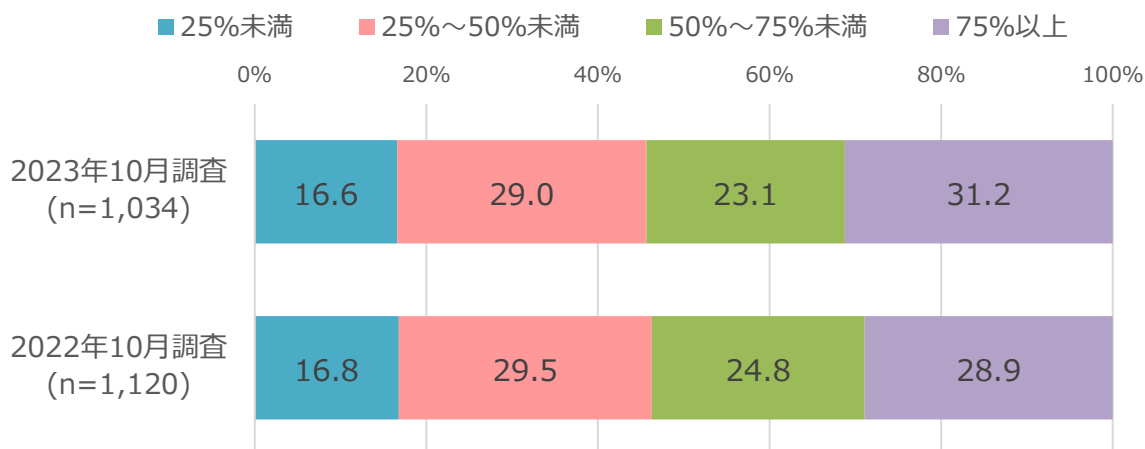
今年の冬のボーナスの使い道に「支給されない・分からない」を選んだ方以外が回答。

※本設問で金額を回答した方を抜粋。(「分からない・答えたくない」と回答した n=517 を除く)



■支給される金額のうち、どの程度貯金・預金したいか、お答えください。(単一回答)

今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



消費者意識

冬のボーナスの「貯金・預金の用途」「用途詳細」

「貯金・預金」の用途を「決めている」は約4割

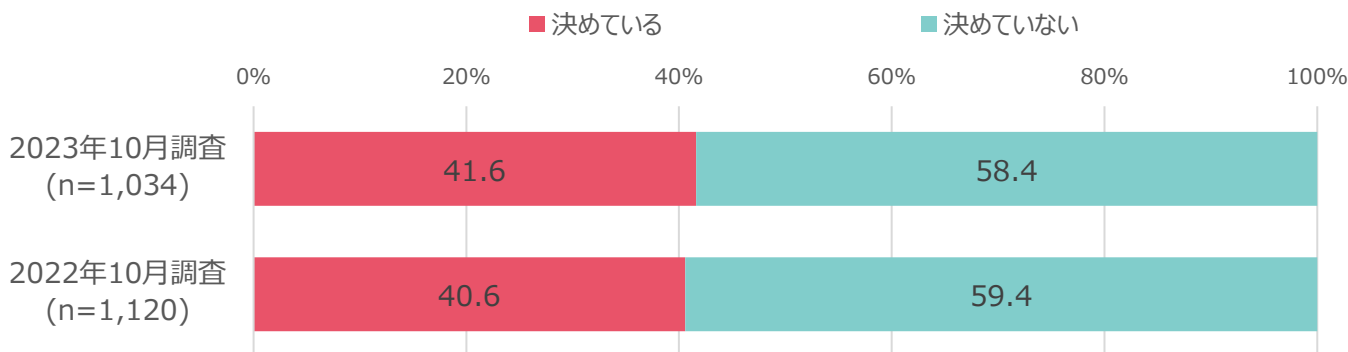
- 冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」と答えた方のうち、用途を「決めている」のは41.6%となった。2022年調査と比べて、あまり変化は見られなかった。

「貯金・預金」の用途、1位「老後の生活への備え」、2位「将来の消費への備え」

- 1位は「老後の生活への備え」（59.5%）となった。
- 2位は「将来の消費への備え」で、2022年調査から3.5ポイント増加して45.3%だった。

■ 「貯金・預金」の用途は決めていますか。（単一回答）

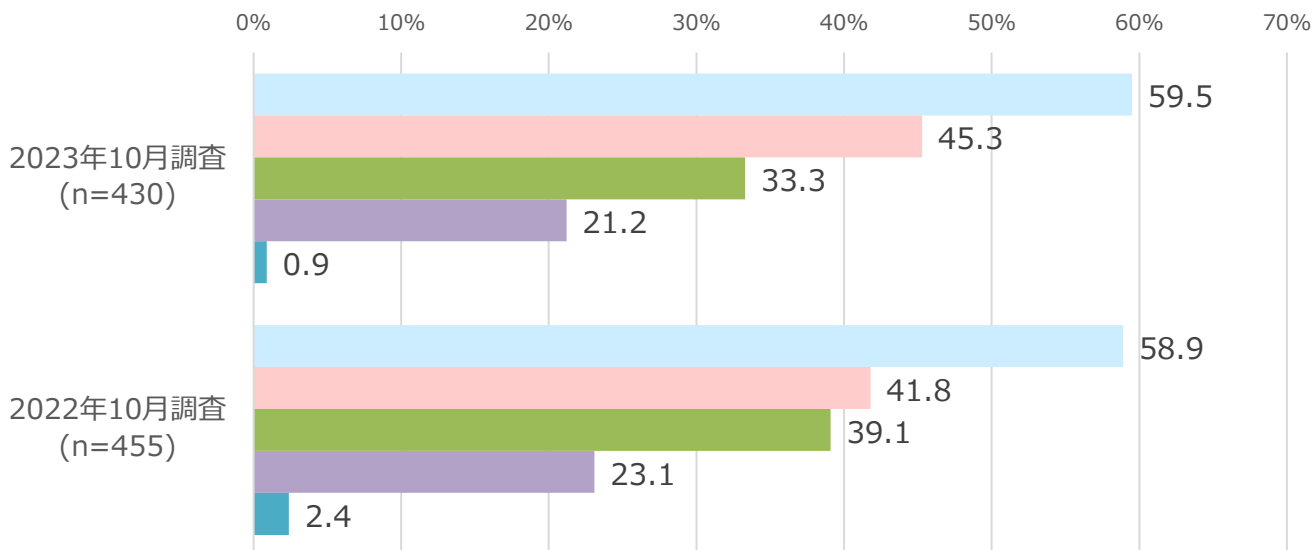
今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のみ回答。



■ 「貯金・預金」の用途を教えてください。（単一回答）

今年の冬のボーナスの使い道に「貯金・預金」を選んだ方のうち、用途を決めている方のみ回答。

- 老後の生活への備え
- 収入の変化への備え
- その他
- 将来の消費への備え（住宅購入、子供の学費など）
- 病気や災害への備え



節約志向

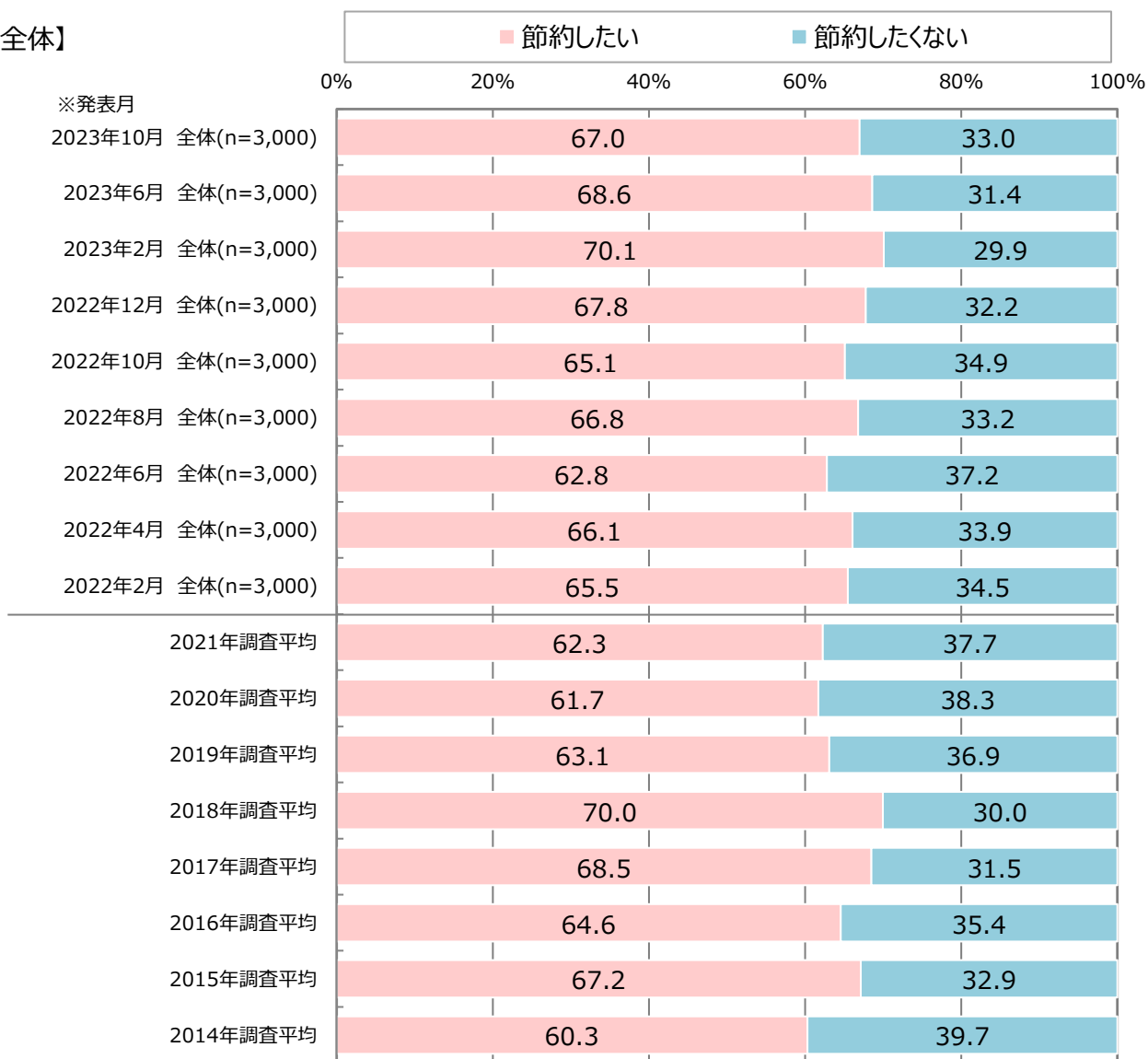
消費者の節約志向

「節約したい」派は67.0%となり、前回調査より1.6ポイント減少

・今月の家計の支出を節約したい金額に1円以上を回答した「節約したい」派は、67.0%となった。

■今月の家計の支出を節約したい割合

【全体】



・節約したい…節約したい金額が1円以上
 ・節約したくない…節約したい金額が0円

【参考】 <設問> あなたは、今月の家計の支出をどのくらい節約したいですか。（半角数字で入力）
 ※とくに節約したいと思わない人は「0」と入力してください。

※2014年調査平均は4～12月の偶数月5回分、その他の年ごとの調査平均は2月～12月の偶数月6回分の平均です。
 各調査n=3,000、2014年4月調査のみn=3,013です。

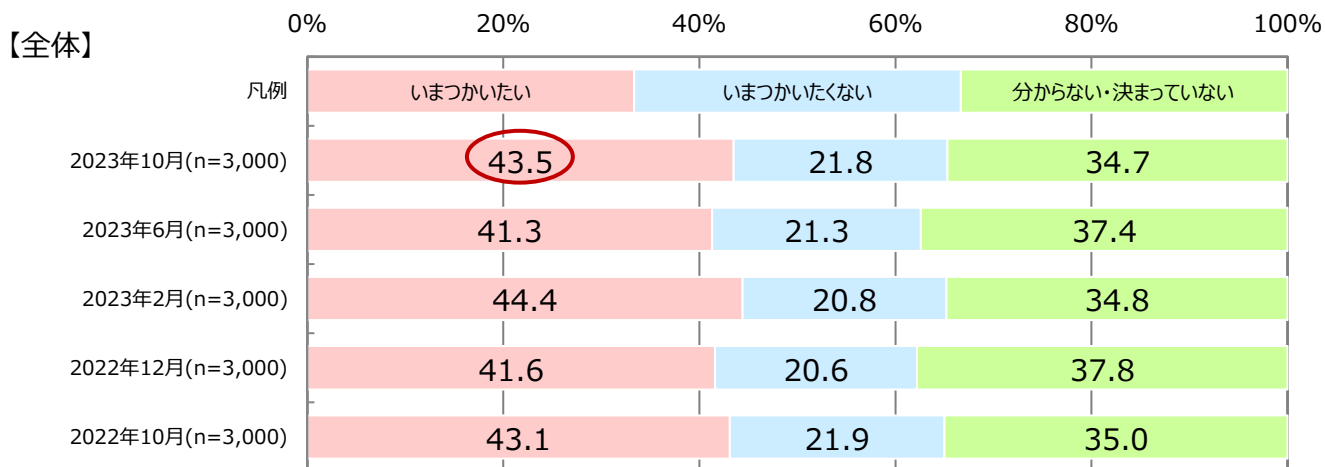
ポイントサービスの利用意向

ポイントの活用意識と節約志向

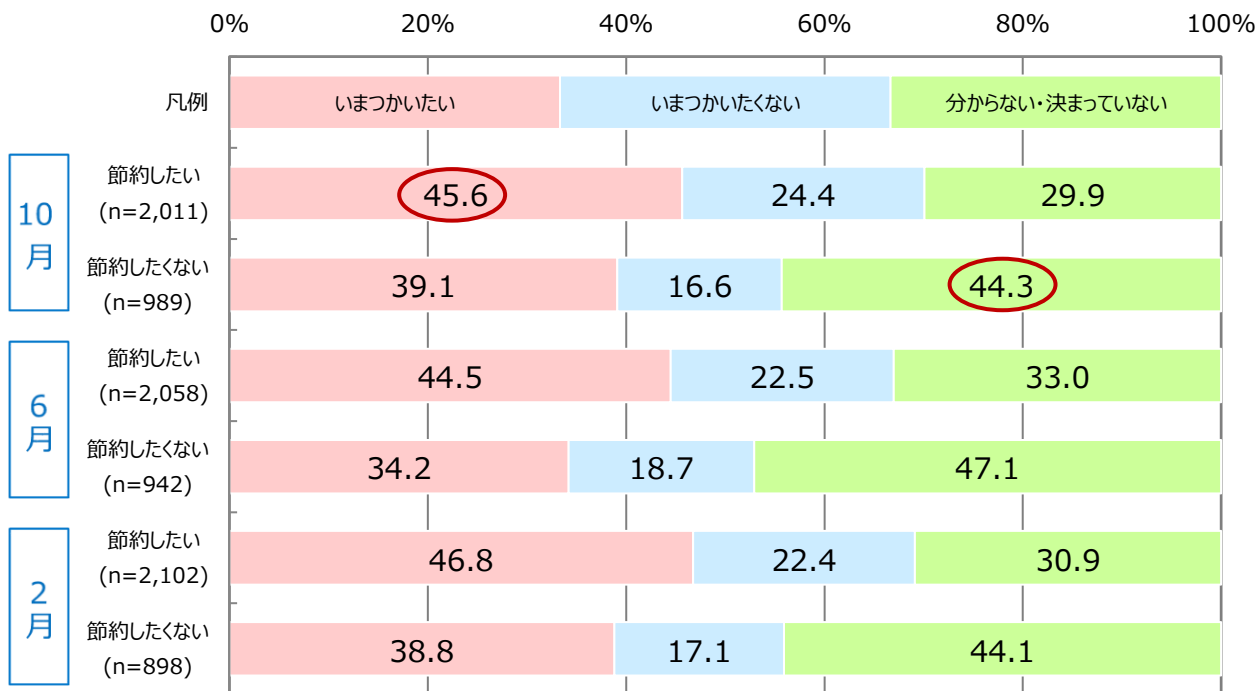
「節約したくない」派では、「分からない・決まっていない」が44.3%と最も高く
 「節約したい」派では、「いまつかいたい」が45.6%と最も高い。
 「節約したい」派に高いポイント活用意識がうかがえる

・いまPontaポイントをつかいたいかについて、全体で「いまつかいたい」が最も高く、43.5%となった。

■あなたはいまPontaポイントをつかいたいですか。(単一回答)



【節約志向の有無別】 (2023年2月～2023年10月調査)



<「Pontaリサーチ」について>

PontaリサーチはLMが提供するリサーチサービスで、Ponta会員のうち「Pontaリサーチ」にご登録いただいているPontaリサーチ会員を対象に、自主調査や企業および団体などから依頼を受けたアンケートをご案内しています。Pontaリサーチ会員の皆様は、アンケートにご協力いただくことでPontaポイントをためることができます。

「Pontaリサーチ」サイトURL : <https://www.loyalty.co.jp/ponta-research/>

